

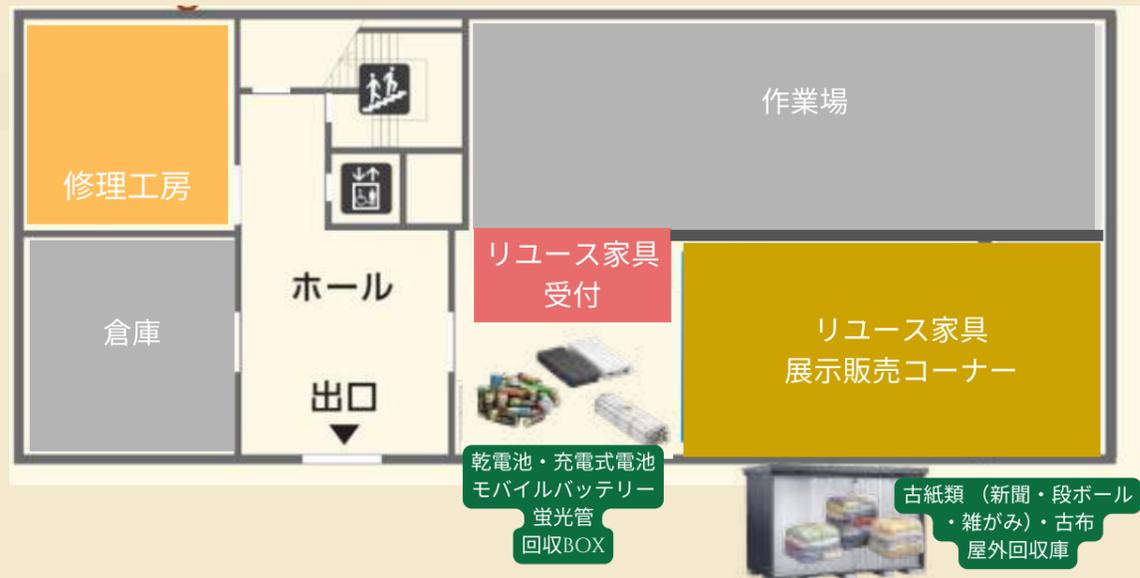
保存版

臨海3Rステーション

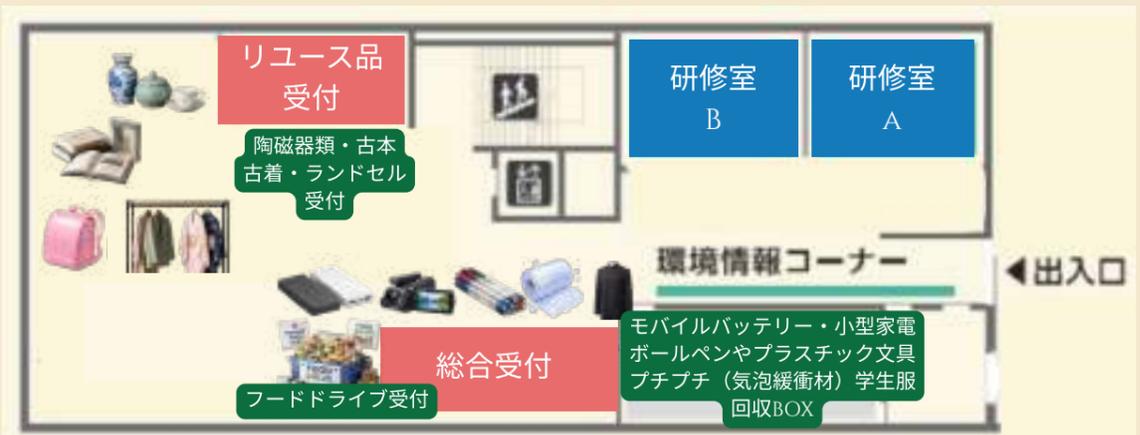
資源物回収MAP

※詳しくはホームページをご確認ください。
また、写真・イラストはイメージです。

1F



2F



資源物 回収		リユース	
	乾電池・充電式電池・モバイルバッテリー・小型家電・プチプチ (気泡緩衝材) ボールペンやプラスチック文具・古布・古紙類・蛍光管	フードドライブ	
			消費期限1か月以上・未開封未使用品 (生鮮食品・酒類は受付不可)

広報誌休刊のお知らせ

広報誌「ECOT」をご愛読いただき、誠にありがとうございます。
このたび、本号をもちまして、紙媒体の広報誌「ECOT」は廃刊することとなりました。今後は、SNSやホームページを中心に、情報発信を行ってまいりますのでそちらをご覧ください。



福岡市 Fukuoka City Seaside 3R Station
臨海3Rステーション
クリーンパーク・臨海

〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13番42号
【ホームページ】 <https://rinkai3r-station.com/>
【TEL】 092-642-4641 【FAX】 092-642-4598
【休館日】 月曜日(祝日の場合は次の平日)年末年始(12月28日~1月3日)
【開館時間】 10時~17時
【アクセス】 ●地下鉄「貝塚駅」より徒歩約20分
●西鉄バス「高須磨町」より徒歩約10分



ホームページ



身近な暮らしから「環境について考える」

ECOT

VOL.20 2026 SPRING



3Rとは何か、3Rのある暮らしとは。

減らす (REDUCE (リデュース))・繰り返し使う (REUSE (リユース))・資源として再利用する (RECYCLE (リサイクル)) —どれも日々の小さな工夫から始まるものです。買い物やモノとの付き合い方、捨てる前のひと手間が、未来の循環につながります。暮らしの中でできることは何か、一緒に考えてみませんか。

今日からできる、暮らしの中のエコ習慣

毎日の暮らしの中には、環境のためにできる“小さな選択”がたくさんあります。買いすぎないこと、くり返し使うこと、きちんと分けて資源に戻すこと。そこに、いらぬモノを受け取らない工夫や、壊れたモノを直して使い続ける視点を加えることで、ムダを減らし、ものと長くつき合う暮らしが広がっていきます。



「減らす・使う・活かす・断る・直す」という暮らし

リデュース（減らす）

買う前に「本当に必要か」を考え、使い切れる量だけ選ぶこともリデュースです。作りすぎや買いすぎを防ぐことで、ごみが減り、収納や片付けの負担も軽くなります。物を増やさず暮らすは、気持ちに余裕を生み、日々を整えてくれます。

リユース（繰り返し使う）

一つのモノを大切に使い続けるのがリユースです。保存容器やマイボトルを活用し、衣類や道具を手入れしながら使うことで、使い捨てを減らせます。物への愛着が育ち、使い捨てを減らし買い替えが減ることで、暮らしにも家計にもやさしくなります。

リサイクル（資源として再利用する）

紙やびん、缶、ペットボトルを分別し、びん、缶、ペットボトルは軽く洗って出すことがリサイクルの基本です。家庭での小さなひと手間が、焼却ごみを減らし、資源を次に活かす力になります。毎日の分別が、循環する社会を支える大切な行動です。

リフューズ（受け取らない）

使わない物を最初から受け取らないのがリフューズです。レジ袋や使い捨て用品を断ることで、ごみは家に入りません。処分や片付けの手間も減り、暮らしがすっきりします。小さな判断ですが、続けるほど効果を実感できます。

リペア（直して使う）

壊れたら捨てるのではなく、直して使うのがリペアです。衣類を繕ったり、道具を手入れしたりすることで、物の寿命は延びます。手をかけるほど愛着が深まり、新しく買う機会も減ります。物を大切にする時間が、丁寧な暮らしにつながります。



今日からできる“エコ習慣”チェックリスト

- マイバッグ・マイボトル
マイ箸を持ち歩く
- 繰り返し使えるモノ、
長く使えるモノを選ぶ
- 家の中の“使っていない
モノ”を見直す
- リサイクルマークの商品
を優先的に選ぶ
- 不用品はリユースへ回す
- 直して使う

3Rをもっと身近に。臨海3Rステーション修理工房で出来ること

新しい季節に「暮らしの3R」を整える

春は、引っ越しや新生活の準備、住まいの見直しなど、暮らしが動き出す季節です。このタイミングだから、「3R」を意識することが、日常を整える第一歩になります。モノを減らす、繰り返し使う、資源として活かす——どれも特別なことではなく、毎日の小さな選択の積み重ねです。新しい暮らしを始める、無理のない3Rを生活に取り入れてみませんか。

春から始める「直して使う」という選択

臨海3Rステーションでは、「繰り返し使う」ことを身近に感じられるリペアサービスや講座を行っています。包丁研ぎや椅子の張替え、まな板削りなど、暮らしの中で長く使い続けたい道具を手入れするリペアサービスのほか、金継ぎやダーニングなど、実践して学べる講座も開催しています。新年度のスタートに、直して使う習慣を暮らしに取り入れるきっかけとして、ぜひご参加ください。



家具の修理相談

椅子やテーブル、タンスなどの不具合について、相談および修理をお受けいたします。



木製のまな板削り

古くなった木製まな板の表面を削り、黒ずみや黄ばみなどを削ります。



長傘の修理

傘は本来長い年月使える道具です。壊れた大切な傘を修理します。



椅子の張り替え講座

座面を張り替えて、古い椅子を再生する技術を学べます。

福岡市

福岡市LINE公式アカウントで
ごみ・資源物の分別検索ができます！

福岡市LINE公式アカウント上で利用できる「ごみ分別検索機能」は、新生活のスタートにも心強いサポートです。調べたい品名を入力するだけで、正しい分別方法をすぐに案内。忙しい毎日でも“迷った瞬間にすぐ確認”でき、新しい暮らしをスムーズに整えられます。福岡市はこのサービスを通じて、ごみ減量やリサイクルをもっと身近にし、春からの循環型ライフを応援しています。また、令和9年2月からプラスチックの分別収集も始まります。

LINE公式アカウント名：「福岡市」
LINE ID：「@fukuokacity」
※右の二次元コードを読み取るか、LINEの友だちページから「福岡市」を検索して友だち追加してください。
臨海3Rステーションのホームページからも追加できます。

市民活動・NPO活動の紹介

エフコープ生活協同組合

安心して暮らせる未来をめざし、エフコープはSDGsの理念のもと、地域と共に活動しています。食品ロス削減やフードドライブ、子ども食堂支援、平和学習、自然保護や3R推進など、取り組みは多岐にわたります。回収した牛乳パックはトイレトーパーに再生され、リサイクルで得た収益の一部は「エフコープ環境助成金」として地域の環境保全団体へ還元。また、組合員募金を活用した福祉団体への助成や、災害時の復興支援にも取り組み、地域とともに持続可能な社会づくりを進めています。

ふくおか大地といのちの会

生ごみや雑草、落葉や竹など、ごみとして捨てられている資材を活用した「菌ちゃん農法」で土づくり、野菜づくりを進めています。捨てるなんてもったいない！と思える、元気でおいしい、虫もつかない野菜を育てています。食・農・環境・健康は、すべて繋がっていることを体験できます。西区に実習畑があるので、見学することができます。当施設のエコ農園で、「生ごみゼロの循環体験！親子講座」も実施しています。